

第23号書式（第29条）

阪航工契第 333 号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 武蔵VOR／DEMカウンターポイズ改修工事

開 札 年 月 日 平成30年10月10日 （落札決定日 平成30年11月1日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 10,584,000 -

落 札 者 大野塗装工業有限公司

予 定 価 格 ￥ 12,398,400 -

積 算 額 ￥ 12,398,400 - 入札書比較価格（予定価格の100/108） ￥ 11,480,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 11,082,117 - 調 査 基 準 価 格 の 100/108 ￥ 10,261,220 -

基 準 評 価 値 871.080

第 1 回見積 成立

入札参加者	評 価 点 (満点150点)	第 1 回入札			第 2 回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
大野塗装工業有限公司	-	14,000,000	-	-	11,800,000	-	-	

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※ 本工事は入札説明書16.（4）に基づく施工体制確認のためのヒアリングを実施し、平成30年11月1日に落札決定した。

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)） 「見積徴取の経過」

件 名 武蔵VOR／DEMカウンターポイズ改修工事

入札参加者のうち随意契約における 見積徴取への参加意志のあった者	評 価 点 (満点150点)	第1回見積徴取												摘 要	
		見積金額	評価値	評 価 値 之 基準評価値											
大野塗装工業有限公司	116.5	9,800,000	1,188.775	○											成立

- ※ 第二回入札で不調となったため、予決令第99条の2に規定する随意契約手続きに移行することし、入札に参加した者（辞退した者等を除く。）のうち、上記の参加意志のあった者により見積徴取することとした。
- ※ 見積金額は見積提出者が見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額である。
- ※ 予定価格の範囲内の見積金額であり、評価値の最も高い者により成立するものとする（なお、その範囲に満たない見積金額の場合は、各点数を表示しない。）。
- ※ 評価値は、評価点を各回見積徴取の見積金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。

低入札価格調査の実施概要

工事名 : 武蔵VOR/DEMカウンターポイズ改修工事

大阪航空局

調査を実施した業者名、住所 : 大野塗装工業有限会社 大分県大分市大字下郡字高畑1738番地の3

項 目	内 容
1. その価格により入札した理由	本工事の内容から、塗装改修工事については自社労務により実施が可能であり、その他の部分も長年取引実績のある下請業者の協力により、効率的な実施が可能であることから、当該価格で入札したものである。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	手持ち工事0件。本件履行に影響なし。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	手持ち工事1件。本件履行に影響なし。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	当該工事場所と調査対象者の大野塗装工業有限会社は同一県内にあり、下請業者も当該施設の新築に携わっており土地勤もあることから、緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認した。
5. 手持資材の状況	当該工事に活用できる自社所有足場資材について、提出資料により過不足が無いことを確認した。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	塗装材については、永年にわたり取引がある協力業者から調達を予定していることを確認した
7. 手持機械数の状況	当該工事に使用する仮設足場(ローリングタワー)は、自社所有機材であり、高所作業車については、協力会社からのリースする予定であることを提出資料により確認した。
8. 労務者の具体的供給見通し	塗装工事については、自社の労務者を従事させることとし、鉄骨工事及びサッシ工事については協力会社である下請業者が行うこととしており、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認した。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成25～29年度において、建築工事として、国5件、独立行政法人等3件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評価は平均71.5点であり、適切な施工が行われているものと思料される。また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が2件あったものの、発注者へのヒアリングにより特に問題なく施工が完了していることを確認した。
10. 経営内容	問題なし
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	以上の調査事項について確認した結果、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成25～29年度において、建築工事として、国5件、独立行政法人等3件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評価は平均71.5点であり、適切な施工が行われているものと思料される。また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が2件あったものの、発注者へのヒアリングにより特に問題なく施工が完了していることを確認した。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし ④その他
15. その他必要な事項	